

令和2年度第2回 さいたま市生涯学習推進部会

10月19日(月) 午前10時～
生涯学習総合センター 多目的ホール

ビジョン策定に向けた様々な意見をいただきました



生涯学習推進部会

(職員・映画監督・PPPコーディネーター 18名)
6月22日

- 学びを積み重ねていくことは、人の**成長ストーリー**そのものである。
- 突如のコロナ禍は、**生き抜くためには学びが必要**だということ突きつけた。
- 未曾有の危機を克服するには、**新たな発想**で立ち向かうことが必要。そのことは、**個人の成長**や**地域の発展**にも寄与すると思う。
- 市として生涯学習を推進していくことは、**地域を創造していくこと**だと思う。
- こうした混沌とした時代だからこそ、市民と職員が**元気**で、**わくわく**した気持ちによって、未来を信じ、**夢とロマン**を共有することが大切だ。 など



社会教育委員会議

(市民・教育関係者・学識経験者 15名)
6月29日

- 本市の生涯学習所管課は、緊急事態になってからすみやかに、**数多くのコンテンツ**を提供し、その内容も濃かったことを評価したい。今後、利用者の意見を取り入れることもした方がよい。
- コロナ禍の影響で、**高齢者の情報リテラシー**が高まった。Zoomの講習会は人気が出ると思う。
- **言葉のシャワー**、**言葉のスクラム**を読んで感動した。こうした職員のボトムアップでバックボーンを作り、練り上げていく姿勢が素晴らしい。
- 情報を出しただけで終わっている例が見られるが、情報は、相手に届き、**正しく伝わってこそ意味がある**。 など



生涯学習推進検討会議

(議長：生涯学習部長、市長部局：17課
教育委員会：6課 24名) 7月29日

- 我々の事業が、市民に**生涯学習を提供している**という意識を改めて持つことができた。今後も連携していきたい。
- 「わくわく、元気で、夢を持ち」という言葉の使い方は、くどいようだが、行政計画にはない**新鮮さ**がある。
- 本市の強みである、**質の高い学びを推進するビジョン**という打ち出し方もいいと思う。
- 「**学び抜く**」という表現に歯を食いしばるイメージがあるので、他の文言と並ぶと違和感があるかもしれない。でも**印象に残る**。
- 「生涯学習」という言葉の意味を**市民に分かりやすく説明する**ビジョンとなればいいと思う。
- 分かりやすさを重視で、**日常でも使うような言葉遣い**がいい。など



さいたま市教育委員会
教育長・教育委員

7月30日

新しい時代に向けて、市民に分かりやすいビジョンとなるよう、しっかりと検討して、良いものを作ってほしい。



市民アンケート

(回収3,349件)
7月20日～8月末

結果は別添参照

- 【質問】生涯学習を行うようになった目的について
- 【質問】コロナ禍の影響で学習に関する意識や行動に生じた変化について
- 【質問】これからの時代に、学びを充実させるために重要なこと、必要なこと

改めて今、ビジョンを作る意義が見えてきました

社会の 変化

- ・技術革新やグローバル化の急速な進展
- ・長寿化に伴う「人生100年時代」の到来
- ・少子高齢化による労働力人口の減少
- ・社会の持続的な成長・発展に向けた国際的な政策動向（SDGs）など

コロナ 禍

- ・想定外の連続の中、困難に対応して生き抜いていくことが人類共通の課題
- ・新たな生活様式のもと、ICTを活用した新たな学び方の試行、導入、実践
- ・人と人とのつながりや地域コミュニティの大切さ、価値の再認識
- ・未曾有の危機に立ち向かい、克服するためには、行政だけでは到底不可能など

人生100年時代、幾度となく発生する可能性のある危機に向き合いながら、「**生涯を通して学び続けることが生きる原動力になる**」という普遍的な視点を持つことが重要である。



本市の生涯学習の理念を示す**ビジョンを新たに掲げ**、生涯学習の新しい姿を市民と共有しながら、**オールさいたま市**で生涯学習施策を推進していく必要があるのではないか。

そもそも、なぜ学んだらう？



人生が豊かになる

学び×自分

- ・趣味や教養が充実する
- ・生き方や仕事に活かせる
- ・リラックス、リフレッシュできる
- ・感性が豊かになる
- ・元気が湧く
- ・文化芸術に触れる機会が増える
- ・体力が向上する
- ・様々な可能性が高まる など

「個人」
の成長



つながりができる

学び×仲間

- ・認め合う気持ちが高まる
- ・新しいアイデアや考え方が湧く
- ・共感が生まれる
- ・居場所ができる
- ・お互いを高め合える
- ・他者を助けられる
- ・新しい人間関係ができる
- ・学んだことを共有してネットワークができる など

「輪」
の成長



交流が広がる

学び×コミュニティ

- ・世代を超えた交流ができる
- ・憩いの空間が生まれる
- ・大学、企業、NPO等多様な団体から学べる
- ・地域社会・コミュニティへの愛着が生まれる
- ・社会貢献の気持ちが芽生える
- ・地域の課題や困り事の解決が図られる など

「コミュニティ」
の成長

構成は分かりやすさを重視しよう！

はじめに

何のために学ぶんだろう？

これからの時代に重要なことってなんだろう？

記載に当たり**大切**にしたいこと

- ◎ 「**分かりやすさ**」
→ 行政用語でごまかさない
- ◎ 「**フレンドリーさ**」
→ Let's (一緒に) の気持ちで
- ◎ 「**ゆるさ**」
→ イラスト多く、ビジュアル重視

本市が目指す生涯学習について

- 色とりどりの花が咲く 楽しい学び
- 豊かにつながる 学びの架け橋
- 学び合い支え合う 生き生きした地域



キャッチフレーズ

「わくわく 元気で 夢を持ち 新しい時代を学びぬく」

～学ぶことで人生は彩られる 輝きを増していく～

質問 1 生涯学習を通じてどのように人生を充実させ、社会を発展させていくのか。

- 今までのやり方、生き方、あり方は「通用しない」ことを大前提としての、ビジョン創造にしたい。ビジョンから生み出された事業へと変えていくことを目指す。
- 今までの在り方、やり方、生き方が通用しないような、社会の変化や気候、災害、その他の想定外の事態に備える。大人も子供も生き抜くチカラを体得できるために、体験の中から気づき、その中で築き上げていく無形資産をえられる生涯学習へ。
- 2040年の本市は、（略）都市経営課題を抱えることは明らかです。課題に対応するために必要なことは、現30～40代の健康で豊かなライフスタイル、学び直し、再チャレンジできる人生100年時代に対応した社会を実現することであり、本市の未来をつくるために生涯学習の重要性は益々高まるものと考えます。
- 「学び」で終わらせるのではなく、「学び」をきっかけとして、誰かにつながったり、誰かのために活かしたり、学びが循環する環境を作ることは大切なのではないかと思います。
- 問題は働いている子育て等に忙しいなど学習をしたいけどできない人、そもそも学習意欲がない人に対し、どうしたら学習をしてもらえるようになるのではないかと。
- 日常の中での学びを重ねることで、小さな輪から、心身とも元気な地域になっていけるような仕掛けを広げたいです。
- 学びを体で体験できるフィールドワークに挑戦していくことは、生涯学習の推進にも通じていくと考える。
- 趣味や自分磨きで「自分を高めるステージ」から、培ってきたスキルを他者に提供することで満足感を得る「与える喜び（社会貢献）ステージ」へ移行できるよう、社会教育を運営する人は、人と人をつなげるための場（場所、システム）としての役割を担いたい。
- 「住み続けたい！」と思えるよう、学びを充実させたい。学ぶことを通して、地域を知り、地域の魅力を発見（再発見）できるようにしたい。学んだことを生かして、成果を発信したり、さらに誰かに伝えたり、教えたりできるようにしたい。
- 発表の場を多く設定することで、様々な人とのコミュニティも形成することもできる。こうしたことが地域・社会の発展に繋がっていくと思う。
- ICTの活用を学ぶ機会をユーザーに手厚く提供し、自ら情報を取りに行ける環境を作ることが短期的に必要と考えます。
- コロナ禍で“集う”ことが難しい中で、市民がつながりを広げて生きがいを見つけるために、生涯学習部は接続ユニットとなる。
- 学ぶことで人生を豊かにし、そうした個人同士がつながりを作り、広がっていく輪が地域社会・コミュニティの成長を促し、その地域やひいては社会全体の発展につながる、というのが生涯学習の究極的な目標のかなと感じました。

質問2 「本市が目指す生涯学習」について

- 「学び」でとまるのではなく、それによって何を実現していくのかを明確にしたい。
- 学ぶことは「生きるを楽しむ」ことだと思います。
人づくり = 一人で生きる力をはぐくむこと
つながりづくり = 誰かと生きる力をはぐくむこと
まちづくり = 楽しく生きる力をはぐくむこと
- 人づくりとは、「人材を育てる」のか「個性を磨く」のか、その両方なのか。
- 「色とりどりの花が咲く」がほかの2文に比べて抽象的な気がする。「色とりどり」は「人生の彩り」、「花が咲く」は「学びで開花」かと。人材育成も個性を磨くことも、根本的な目的が違うので、両方を網羅した言葉にしたい。
- 「生き生きした地域」の「地域」の響きが固い気がする。「まち」でもいいと考える。「学び合いつながる 学びの架け橋」、「豊かに支え合う 生き生きしたまち」ではどうか。
- 「個→輪→コミュニティ」の3つが繋がっているイメージを持てる言葉にしてはどうでしょうか。例えば、「発芽→成長→結実」、「芽吹き→花が咲き実がなる→生き物が共存する森」など

質問3 キャッチフレーズについて

- 市民が学ぶこと、市民に学ばせること自体が目的かのような表現は避けたほうが良いと思います。学ぶことは、生き方を自由にする、解放すること、かなと思います。
- 親しみやすい言葉で良いと思うが、少し「将来のあるべき姿」が不明確なのではないかと思う。
- キャッチフレーズだけあっても、肝心の中身が伴っていなければ意味がない。
- もっと「レッツ」の気持ちが伝わるとういな、と感じました。「さいたま市が あなたの一生 わくわくさせます！」
「一生 わくわくして 生きよう」とか、こんなイメージです。
- 「誰もが わくわく夢を持ち ともに 新しい時代を学びぬく」… 協働やコミュニケーションの観点を入れ、ビジョンにより近づけた。
- とても前向きで明るい感じがしてよいと思います。各個人の学びが繋がり、他者とかかわることでより良い学びが生まれるので、「新しい時代を 共に学びぬく」としてはいかがでしょう。
- 「新しい時代を学びぬく」という前向きで挑戦的なフレーズが印象的です。ただ、「わくわく 元気で 夢を持ち」の部分が、若干小学校の標語みたいで、口にすると気恥ずかしさがあります。
- 「学ぶことで人生は彩られる 輝きを増していく」というサブフレーズは、生涯学習の良さがストレートに伝わってくる感じで、とてもいいです。